



皆様、厳しい暑さが続きますね。熱中症や夏かぜなどに気をつけて、良い夏をお過ごしください。

今夏行われた都議選では、小池都知事率いる都民ファーストの会が勝利し、最大党派・自民党が敗れる結果となりました。この経験から得られる教訓は、立場によりいろいろと考えられますが、私自身は①政治が市民感覚から離れすぎてはならず、適度な距離感を保つことが大事、②政策の

決定・遂行においてプロセスを透明化し、説明責任をしっかりと果たすことが大事、というのではないかと捉えております。

衆議院小選挙区の区割りが変わり、今後も奄美の代表を国政に送り続けることが大きな課題となります。国や県とのパイプを確保しつつ、地元においては「市民に寄り添う」草の根型の政治の実現を目指して、これからも精進して参ります。

安田そうへい



そうへいの議会トピックス
直近の議会での決定事項や進捗状況についてお知らせします

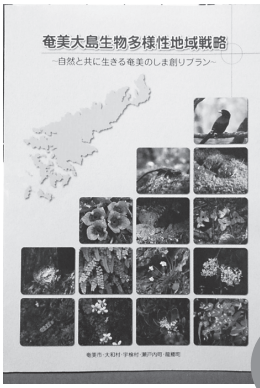
1 平成 29 年第 2 回定例会（6 月定例会）における主な議案について

- 29 年度一般会計補正予算第 1・2 号（合計 2 億 9401 万円の増額）⇒ 結果、一般会計総額は 320 億 5806 万円。その主な内容は、
- ①ふるさと応援基金積立金 1 億 2730 万円：ふるさと納税で頂いた寄附金専用の基金を今年度に創設。今回、過去分を合わせて積み立てる
- ②幼・小・中空調設置工事費約 4000 万円：校長室・職員室等にクーラーを整備。これにより、全ての市立幼・小・中に完備。普通教室は将来的な検討課題
- ③奄美振興会館駐車場整備費 3500 万円：長浜浄化センター敷地内に 109 台分の駐車場を整備
- ④離島留学推進事業費 2000 万円：本土から奄美市の里親の元へ移住し、小中学校に通学して頂く制度。詳細はこれから
- ⑤住用町市へき地保育所改修費 1380 万円
- ⑥奄美群島「結いの島」農業モデル事業補助金 284 万円：市内で不足している堆肥を与論町から導入し、さとうきび生産量向上の効果を検証する
- ⑦全国離島交流中学生野球大会負担金 200 万円：沖縄県石垣市にて開催、市内中学生による選抜チームを編成して参加予定
- 国民健康保険事業・介護保険事業など 3 特別会計

- の補正予算
- 飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ⇒ 「しっかり!!ご報告」で詳しく解説します。
 - 工事請負契約の締結：名瀬・住用地区学校給食センター新築工事
 - 財産の取得：同給食センター厨房備品の購入
 - 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元、複式学級解消を図るための、来年度政府予算に係る意見書採択に関する請願 ⇒ 採択
 - 地方財政の充実・強化を求める意見書 ⇒ 可決
 - 北朝鮮のミサイルに備え避難訓練等の実施を求める意見書 ⇒ 可決
 - 奄振延長・提言特別委員会（定数 11 名）を設置しました

2 議会活性化について

今回、議員定数等調査特別委員会（議長を除く 23 名で構成）を設置しました。次の改選時における議員定数・報酬についての議論を本格的に行い、市民の皆様の納得がいくような手順を踏んで、将来の議会の方向性を提示していきたいです。また、それと同時に並行で議会活性化に向けたWGの活動も進めていきます。議会の力を落とさずに、むしろ高めていけるよう、政策立案力や行政チェック力強化の具体策を議論中です。



早ければ来年夏といわれていますが、今秋にはユネスコの諮問機関である国際自然保護連合（IUCN）による現地視察が行われ、来年 5 月頃にはその勧告結果が発表されるのではないかと考えられます。視察の概要については今後発表されて

1 世界自然遺産登録に向けて

「生物多様性地域戦略」の冊子。この理念や具体的施策が、奄美市の総合計画にもしっかりと反映されるよう、一般質問で求めました。全庁的に取り組むべき施策や行動計画が盛り込まれていますので、着実に実行・実現してほしいです。

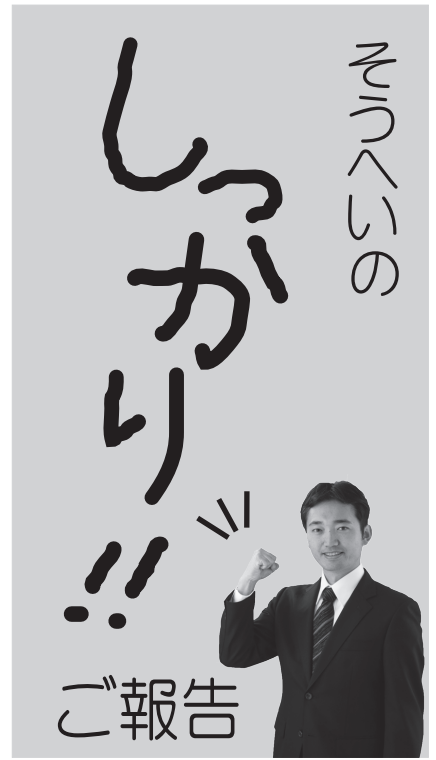
ます。また、26 年度に大島 5 市町村で策定された「生物多様性地域戦略」は 8 重点施策と 18 事業、105 の行動計画を有する、世界自然遺産に相応しい地域づくりの総合的な計画ですが、進捗状況把握がまだ十分にできていないとのこと、把握でき次第、報道等でも公表するよう求めました。

告・調査違反については 2 万円以下の過料になる場合があります。まずは市民の皆様に対して条例の趣旨を周知徹底して、罰則の適用

総括質疑で私自身、取り上げましたし、委員会審査でも活発な質疑が行われた本案件。議会から前回、附帯決議を出したからこそ、行政に丁寧な説明を求めました。今回の改正により、飼

この場合も土地確保が困難とのこと。この節減効果を教育内容の充実や小規模校の維持に生かしたいところです。夏場に室温 30 度を超える普通教室に冷房装置を付けたり、特別支援教育支

朝戸に計画の中の名瀬・住用地区学校給食センター。来年 2 学期からの供用開始予定で、総工費は土地購入費も含めて約 17 億円。仮に自校方式を維持すると 17 校分の建て替えて約 45 億円、センターを 3 カ所に整備しても約 23 億円となり、い



2

飼い猫適正 飼養条例の改正

がなるべくなくて済むよう、ルール順守を図っていきなさいです。

3

給食センター 化による財政効果

援員やスクールソーシャルワーカーの先生方の増員・待遇改善をしたりすること。皆で知恵を絞って、教育環境や教育内容の質の向上に取り組んで参ります。



名瀬朝戸地区の学校給食センター建設予定地。米飯給食センターの隣です。現在、配送車用の車庫を建設中。安全・衛生面を重視し、食物アレルギーにも対応した給食を提供できるよう準備中です。より良い給食運営ができるよう、求めています。

総務企画委員会の 行政視察報告

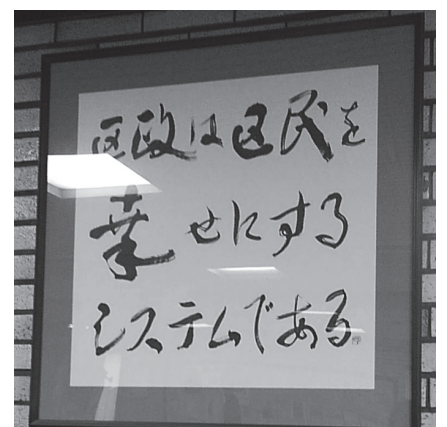
5月8日から11日まで、3泊4日の行程で秋田市・東京都荒川区・板橋区を訪問・調査しましたので、その結果を報告します。

ンキングの教育満足度1位となるなど目覚ましい活躍です。特徴は「講義は全て英語・全員一年間の留学が必修」。一学年175名の少人数にこだわり、学生に目が届くきめ細かな教育ができる環境

で、世界に出て即戦力となる人材を育てるというコンセプトが感じられました。県庁も訪問し、大学に支出する運営交付金は年間10億

円余りとのことで、地域を挙げた大きな覚悟と決意が必要であること、実感しました。

②東京都荒川区「区政は区民を幸福にするシステムである」



西川太一郎・現区長が考案した、荒川区のドメイン（事業領域）を表現した言葉。区政の至るところに散りばめられており、職員は常に意識し、区民や来訪者も区のスタンスが常に理解できるようになっています。理念やビジョンの共有、大事です！

区民の幸福を第一に考える区政を目指す荒川区は、平成17年から「荒川区民総幸福度（GAH）」の研究を開始。6分野・46の指標からなる区民アンケートを毎年実施し、その結果を政策や施策の立案・改善に生かしています。ブータンの国民総幸福量（GNH）のよ

うに、経済指標に代わる「住みやすさ・暮らしやすさ」を追求する取り組みといえるでしょう。住民にとって最も身近な基礎自治体が、住民の幸せとは何かを求め続け、不幸を減らすことを一生懸命に考える。この価値観や姿勢こそが大事と感じました。

③東京都板橋区「指定管理者制度の改善」

この制度は、公民館やスポーツ施設などの公共施設を行政に代わって企業等民間団体が自律的かつ柔軟に管理・運用できる制度で、

奄美市でも既に導入されています。板橋区のこの制度運用で特に優れていると感じる点は、区と業者が協定で「適正な利益率」を定めていることです。民間団体の本業の利益率を勘案し、税理士会による算出も参考にその利益率を決定しています。民間が事業をするためには、一定の利益が確保されなければなりません。奄美市でも民間活力をさらに生かすために、改善が望まれる課題です。



■国際教養大のシンボルである「24時間365日オープン」の図書館。ここに並ぶのは全て洋書で、全国から利用者が来るそう。学生は好きだけ勉強できる環境です。

大島5市町村共同で取り組んでいる「大学設立等可能性調査」に議会からも提言すべく、地方の公立大学で最高の成功事例といえる秋田県の公立大学法人国際教養大学を現地視察。開学14年目でありながら、大学ラ

①秋田県庁・国際教養大学「大学設立に関する調査」

る調査」

る調査」

る調査」

る調査」

column

ミサイル 避難訓練の 必要性

コラム

今年に入り、北朝鮮のミサイルによる脅威の高まりを、実感しています。

まず、この原稿を書いている7月4日(この日は米国の独立記念日に当たりますが)、北朝鮮は大陸間弾道ミサイル(ICBM)と称して一発発射し、日本の排他的経済水域内に着水。またしても暴挙に出たかと憤りを感じるとともに、日本海側に暮らす方々の不安や懸念はいかばかりかと、察するに余りあります。

今年7月上旬時点で10回を超えるミサイル発射をした北朝鮮に対して、危機感を強めている政府は今春、都道府県向けにミサイル脅威に関する説明会を開催し、具体的な避難方法を住民に周知するとともに、各自治体でも避難訓練をするよう要請しました。また、政府はインターネット上に「国民保護ポータルサイト」を設けたり、テレビCMを流したりして、万が一の際の避難方法の啓発に努めています。

奄美市も既に策定してある「国民保護計画」をホームページ上に掲載し、避難マニュアルの情報提供を行っています。ただ、これだけでは市民全体に行き届かないと考え、私ども会派・自民新風会は、各会派の賛同も得て、奄美市にミサイル避難訓練の着実な実施を提言しました。時期をみて、国や県と共同で、多くの市民の皆様のご理解とご参加を頂きながら、なるべく早く実現できればと願っております。

万が一、わが国の領土が狙われた場合、自衛隊の現在の迎撃手段としては、イージス艦が搭載する海上配備型迎撃ミサイル(SM3)や地対空誘導弾パトリオットミサイル(PAC3)などがあります。名瀬大熊に建設中の駐屯地に配備される中距離地对空誘導弾はこれらよりも射程距離が短く、敵の航空機や巡航ミサイルを迎撃するものであり、これを理由に「奄美に自衛隊が配備されても、全ての危機から市民の安全を守れない」と主張する声が一部にありますが、私はそうは思いません。奄美に配備される陸自部隊は離島防衛が重要な任務であり、東アジアの通商・貿易にとって重要な海域である奄美諸島を、相手国の正規の軍隊ではない武装集団によるグレーゾン事態など、様々に想定される敵の襲撃から防御するために配備される、必要最小限の備えと考えています。

そして、ミサイルによる万が一の事態が発生した際には、「自分の身は自分で守る」ことを原則に、避難行動を取らなくてはなりません。頑丈な建物や地下に避難する、物陰に隠れる、地面に伏せて頭部を守るなど、具体的な方法をお互いに身につけましょう。

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性があります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、直ぐに建物や地下に避難してください。落下後、落下地点から安全な場所に移動してください。

メッセージが流れたら
落ちて、直ぐに行動してください。

できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
落下：落下地点から安全な場所に移動してください。

建物が無い場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
窓から隠れるか、窓のない部屋に移動する。

●建物内にある場合：口は鼻をハンカチで覆い、現場から遠ざかり、窓際や窓のない室内に避難し、避難する。

●建物外に避難する場合：落下地点から安全な場所に移動する。

国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために
詳細を確認してください。
http://www.kokuminhogogo.jp/ohyou/teho_musou.html

Twitterアカウント
長瀬政経塾・奄美新風会
@Kantei_Saigai



安田そうへい プロフィール

- 昭和54 (1979) 年生まれ、38歳。
- 奄美小、名瀬中、鶴丸高、東京大法学部卒業。
- 東京・新橋でのサラリーマン生活を経て、公益財団法人松下政経塾に進み、「新しい政治のあり方」を追究する。

- 平成20年に名瀬に帰り、NPO法人にて青少年支援活動や環境保全・リサイクル活動を通じた島おこしに取り組む。
- 平成23年奄美市議会議員選挙に挑戦、現在2期目。
- 家族は妻と長男4歳。

※安田そうへい連絡先：
奄美市名瀬古田町5-7
電話：54-7621 / FAX：54-7620
Eメール：sohei@mskj.or.jp